

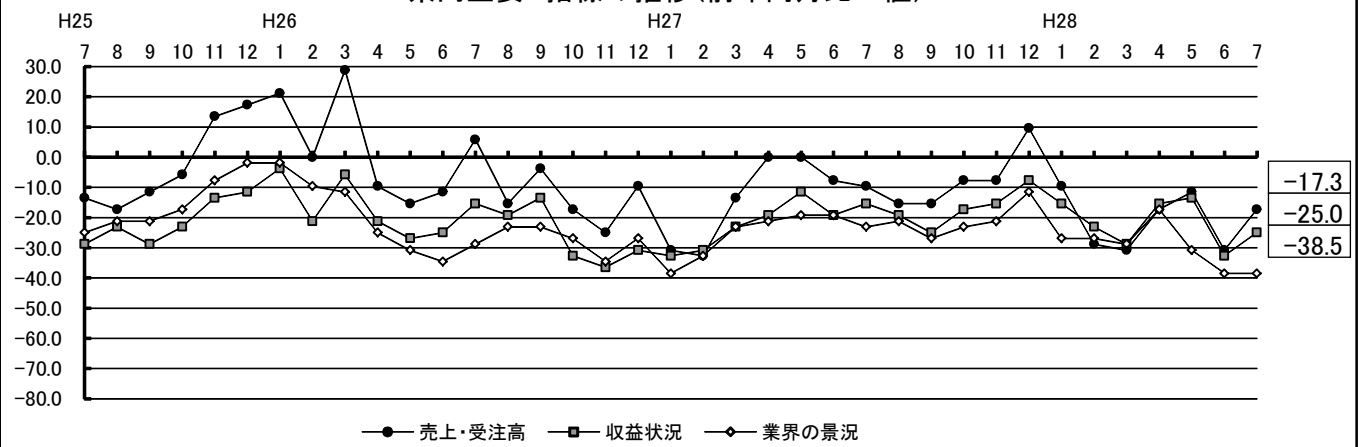
中小企業団体情報連絡員報告結果(平成28年7月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 7月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」の5指標が上昇し、「在庫数量」「設備操業度」「雇用人員」の3指標が低下した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より13.5ポイント上昇の-17.3ポイント、「収益状況」が7.7ポイント上昇の-25.0ポイント、「業界の景況」が前月同様の-38.5ポイントであった。
- 前月比で多くの指標の数値が改善する中、3か月連続でプラスの数値を示していた「雇用人員」がマイナスの値を示した。また「業界の景況」も低い数値で推移している。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-17.3	+13.5	-27.7	+2.6
収益状況	-25.0	+7.7	-25.6	+2.8
業界の景況	-38.5	±0.0	-30.5	+2.5

売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月より13.5ポイント上昇の-17.3ポイントとなった。全国においては、前月より2.6ポイント上昇の-27.7ポイントとなった。

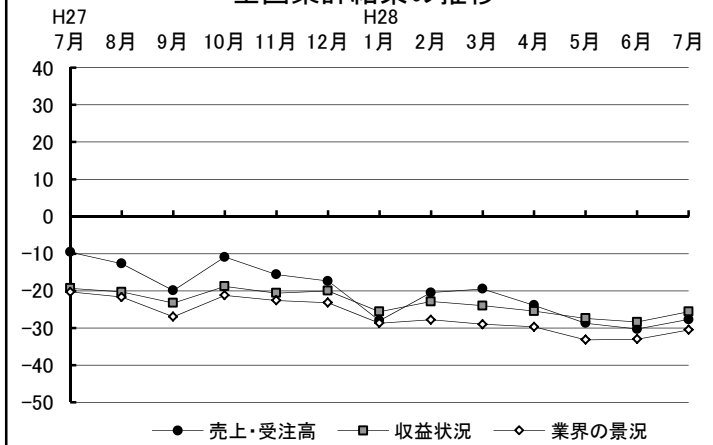
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より7.7ポイント上昇の-25.0ポイントとなった。全国においては、前月より2.8ポイント上昇の-25.6ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月と同様の-38.5ポイントとなった。全国においては、前月より2.5ポイント上昇の-30.5ポイントとなった。

全国集計結果の推移



概況

7月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上」「価格」「条件」「収益」「資金」の5指標が上昇し、「在庫」「設備」「雇用」の3指標が低下した。主要3指標は、「売上」が前月より13.5ポイント上昇の-17.3ポイント、「収益」が7.7ポイント上昇の-25.0ポイント、「景況」が前月同様の-38.5ポイントであった。9指標中「価格」「収益」が5ポイント、「売上」が10ポイントを超えて上昇した一方で、3か月連続でプラスの数値を示していた「雇用」が5ポイントを超えてマイナスの値を記録し、「在庫」「設備」も10ポイントを超えて下落した。また「景況」も依然低い数値で推移している。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中1業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で6業種中2業種が上昇した。「収益」は製造業で1業種が上昇、3業種が低下し、非製造業で3業種が上昇した。「景況」は製造業で2業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で1業種が上昇した。

全国指標では、前月の前年同月比DI値と比べて9指標中7指標が上昇、2指標が低下した。国内消費の後退局面・廉価志向の強まりを受けて、輸入製品や大手メーカーとの競争が激化している。販売価格や物価の下落圧力にも拍車がかかっており、一時的に売上が増進しても、景況感の改善に結びつかない状況である。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	×	△	△	△	△	×	△	△
繊維・同製品	×	×	△	△	△	△	△	△	×
木材・木製品	△	×	△	△	△	△	△	△	×
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	×	△	△
鉄鋼・金属	△	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	×	△	×	△	×
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	△	△	△	×	×	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	×
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	△	△	△	△	—	△	△

○ 増加・上昇・好転 △ 不変 × 減少・低下・悪化
(DI値 +40ポイント以上) (DI値 -40ポイント以下)

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	-50.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-50.0	-25.0	-25.0
繊維・同製品	-50.0	-50.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	0.0	25.0	-50.0
木材・木製品	-25.0	-50.0	-25.0	25.0	-25.0	25.0	-25.0	25.0	-50.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-25.0	25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0	0.0	-25.0
鉄鋼・金属	25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
一般機器	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0	-50.0	-25.0	-50.0	25.0	-50.0
製造業	-16.0	-28.0	-8.0	0.0	-28.0	-8.0	-28.0	8.0	-36.0
卸売業	33.3	33.3	0.0	-33.3	-33.3	0.0		33.3	-33.3
小売業	-71.4	-28.6	28.6	-14.3	-57.1	-42.9		-14.3	-71.4
サービス業	0.0		16.7	-16.7	0.0	0.0		-33.3	-33.3
建設業	-20.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		-20.0	-40.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-25.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-18.5	-10.0	11.1	-11.1	-22.2	-11.1		-11.1	-40.7
全体	-17.3	-22.9	1.9	-5.8	-25.0	-9.6	-28.0	-1.9	-38.5

図表3～【指標別DI値の推移】

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	前月比
売上高	-9.6	-15.4	-15.4	-7.7	-7.7	9.6	-9.6	-28.8	-30.8	-17.3	-11.5	-30.8	-17.3	13.5
在庫数量	-8.6	0.0	-8.6	-20.0	0.0	-2.9	2.9	0.0	-5.7	-8.6	-5.7	-11.4	-22.9	-11.4
販売価格	11.5	7.7	3.8	7.7	3.8	7.7	3.8	1.9	-1.9	3.8	-3.8	-7.7	1.9	9.6
取引条件	-3.8	-1.9	-7.7	-1.9	-1.9	-1.9	-3.8	-7.7	-7.7	-3.8	0.0	-7.7	-5.8	1.9
収益状況	-15.4	-19.2	-25.0	-17.3	-15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-28.8	-15.4	-13.5	-32.7	-25.0	7.7
資金繰り	-13.5	-11.5	-11.5	-3.8	-5.8	-9.6	-5.8	-5.8	-11.5	-9.6	0.0	-11.5	-9.6	1.9
設備操業度	-8.0	-8.0	-16.0	-20.0	-4.0	-16.0	-8.0	-16.0	-24.0	-20.0	-24.0	-16.0	-28.0	-12.0
雇用人員	-17.3	-7.7	-7.7	-3.8	0.0	-1.9	-3.8	-5.8	-1.9	1.9	3.8	3.8	-1.9	-5.8
業界の景況	-23.1	-21.2	-26.9	-23.1	-21.2	-11.5	-26.9	-26.9	-28.8	-17.3	-30.8	-38.5	-38.5	0.0

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	0.0
繊維・同製品	-50.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0
木材・木製品	0.0	-125.0	25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0
印刷	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
窯業・土石	-25.0	0.0	0.0	0.0	-50.0	0.0	-50.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	100.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
一般機器	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
製造業	4.0	-20.0	8.0	0.0	-12.0	-4.0	-12.0	0.0	-4.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	-33.3	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	0.0	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0		-14.3	0.0
サービス業	50.0		16.7	16.7	50.0	33.3		-16.7	0.0
建設業	0.0		0.0	20.0	0.0	0.0		-20.0	0.0
運輸業	75.0		0.0	0.0	75.0	0.0		0.0	25.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	22.2	10.0	11.1	3.7	25.9	7.4		-11.1	3.7
全体	13.5	-11.4	9.6	1.9	7.7	1.9	-12.0	-5.8	0.0

特記事項

情報連絡員報告（平成28年7月分）

所属組合	特記事項
外衣・シャツ製造業	毎年と同じく、秋冬物の立ち上がりが悪く、先行きの不安が大きい。
外衣・シャツ製造業	全体的に、イベント・祭りが縮小傾向にある。
一般製材業	7月前半の加工実績は好調だったが、後半に入り、加工予定の物件が8月にずれ込んだりと思うように伸びなかった。 8月はお金が入るものの、加工日数が少ないため、非常に調整が難しい状況になると予想される。
建具製造業	まさに夏枯れ状態。盆前の駆け込み需要も少ないようである。 Wood INFILLのみ受注好調で、大型案件の出荷が続いている。
碎石製造業	第一四半期の出荷量（4月～6月）は、去年同期比で4.6%減少しており低調である。
印刷業	ニーズの変化、需要の縮小、過当競争、低価格など厳しい経営環境に変わりはない。生産の効率化や最適化だけでは安価な市場競争へ引きこまれてしまう。従来のビジネスモデルに留まり続けることはできなくなっている。
金属製品製造業	白物家電は季節需要で増産した。しかし、梅雨明けが遅くなったので、エアコンはこれから生産調整が行われる様子。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・富士重工関連…円高傾向で環境は厳しいものの、北米などの売上げが好調で下請企業もフル稼働が続いている。 ・富士重工以外の自動車関連…比較的売れている車種の仕事をを行っている企業は売上不変であるが、売れていない車種を扱っている企業は売上が減少傾向にある。 ・建設機械関連…メーカーが大量の在庫を抱えており、現在の受注はゼロ。今後も期待できない。
一般機械器具製造業	組合員1社が新たに1名採用した。しかし、全般的に中小企業の景気の動向は後回しになり、恩恵が受けられていない。迅速な政治的テコ入れが必要。
一般機械器具製造業	本年7月は前年同月と比較し、全般的に売上高の減少がやや目立った。今後いくらか懸念材料はあるものの、悲観する状況ではない。組合員には引き続き気を引き締めて経営にあたっていただきたいと思っている。
各種商品卸売業	<p>来春新卒者の採用を予定している団地内企業3社から実情を聞いてみたところ、全社とも苦戦していた。</p> <p>特に、ある会社では社の方針として女性の営業社員を養成したいのだが、なかなか意欲的な女性の営業職志望者（事務職志望者は多いのだが…）に巡りあうことができないため、新卒女性の採用がこんな状況であるならば既卒者とするか、それも無理ならば新卒男子に方針変更すべきか判断に迷っているとのこと。</p> <p>また、早々と来春新卒予定の内定者数名をどうにか確保することができホッとしていたのも束の間、最近ドタキャンされてしまった企業もあった。採用担当者は、内定者を何とかつなぎ止めておく方策はないものか頭を抱えている。</p>
食肉小売業	国産牛肉は高値が続き、国産豚は価格が安定してきたが、輸入牛・豚が少なく、円高でも値段が下がらない。売上高も消費者の買い控えによって伸びない。
中古自動車小売業	7月は新車販売についても、登録車・軽自動車は前年対比で2.2%減。 三菱の影響で全体では19カ月連続前年対比減の16.3%となっている。下取は相変わらず低年式・過走行車が多く、商品化できる車は限られる。
各種商品小売業	小売業全般で売上の落ち込みが大きく、対前年に比べ10～28%のマイナスとなっていると聞いている。8月の売上増に期待する。

各種商品小売業	<p>今月はアピタと合同での割引祭を二度実施した。先月の特別招待会から立て続けになってしまった分、集客が分散してしまった感は否めない。</p> <p>セール実施→集客という流れが思うようにいかない時代でもあると改めて感じた。やはり独自性というものを再考し、ほかの商業施設とは異なった対策を打ち出していかなければならない。</p>
花・植木小売業	<p>毎年この時期は花の傷みが早いので、店頭での動きは鈍い。結婚式はオフシーズンであり、大きなイベントもなく売り上げは上がらない。</p> <p>市場の状況を見ると、前半は東京の新盆需要の影響で菊類を中心に品薄単価高傾向となった。新盆需要後の入荷量は前年比で横ばい、相場は5～10%程の単価安で推移した。</p> <p>来月はお盆の忙しい時期を迎えるので、産地情報を早めに収集して仕入計画を考えたい。</p>
自動車整備業	<p>売上高は増加したものの、収益は悪化しており、経費削減対策が必要。また、売掛金早期回収についても要検討である。</p>
ビルメンテナンス業	<p>自治体からの入札業務が少し減ったものの、経費の削減により収益は向上した。</p>
給食センター	<p>平成28年3月末で不採算部門は撤退したが、平成28年4月より弁当の価格値上げと新規の得意先があり、売上高は前年同月比で増加となった。</p> <p>食材・燃料・水道光熱費の価格が下がっていることや、新調理法で製造したシニア向け弁当の拡販等コストダウンにより、収益は改善されると思われる。</p>
旅館・ホテル	<p>7月の前年比業況は6月に続き、多数の宿で昨年度を下回った。大雨が少なかったにもかかわらず、お客様の出足は鈍かった。要因としては、6月同様に前年度の「ふるさと旅行券」の影響がある。</p>
内装工事業	<p>栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数から見ると、前年同月比カーテン用ラベルは75%減、敷物用ラベルは292%増、壁装用ラベルは30%減であった。</p> <p>本年4～7月累計では、前年比カーテン用ラベル73%減、敷物用ラベル15%減、壁装用ラベル46%減であった。</p> <p>ラベル支給（売上）金額前年同月比は65%減、累計45%減であった。</p>
一般貨物自動車運送業	<p>荷動き減少に加えて、当月も燃料価格が上昇した。販売価格は不変であるが、慢性的なドライバー不足など厳しい景況である。</p>
貨物軽自動車運送業	<p>物流の動向は季節に左右される面が大きく、7月に入り、特に飲料水や冷凍食品関連貨物は堅調に増加傾向を辿った。</p> <p>しかし、一般貨物を全体的に見ると、昨年同月と比べ低調気味に推移している。ドライバーの高齢化と人手不足が深刻化している！！</p>
一般乗用旅客自動車運送業	<p>デマンドタクシーの普及により、昼間特に買い物のお客様が減少し、少なからず影響を受けている。</p>
大谷石採石業	<p>全体としては前年同月比較で同レベルだった。貼石関係が少し落ち、積石工事がその分を補っている。大きな物件の動きが出始めているとの話もあった。</p>